

西在田地区まちづくり基本計画

《いつまでも暮らし続けたいまちへ、心ひとつに。》



虹の郷にしありた「ニシッキー」

2020年（令和2年）

西在田地区ふるさと創造会議

（虹の郷にしありた）

目次

1. 西在田地区まちづくり基本計画について	1
(1) 趣旨	1
(2) 計画期間	1
2. 現状と課題	1
(1) 位置と特徴	1
(2) 人口統計	2
(3) アンケート調査結果	3
(4) 基本計画の策定経過	5
(5) 西在田地区の地域資源～地域資源マップ～	6
(6) 各町の行事	8
(7) 今後の課題	9
3. 西在田地区の目指す将来像	10
(1) 西在田地区の目指す 10 年後の将来像	10
(2) 基本的な方向性	10
4. 具体的な活動計画	11
(1) 地区の心をひとつにしましょう	11
(2) 地区の力を集めて、できることからをはじめよう	12
(3) 情報を共有し、活動を広報しよう	14
5. 今後の進め方	15
6. 参考資料	16

1. 西在田地区まちづくり基本計画について

(1) 趣旨

加西市西在田地区では、少子高齢化や人口減少、放棄地増加といった各町の問題点を踏まえ、持続可能な活力ある地域を構築するため、2017年度（平成29年度）に策定した西在田地区まちづくり基本計画を見直すものとします。

(2) 計画期間

計画期間は、2020年度（令和2年度）から2029年度（令和11年度）とします。

2. 現状と課題

(1) 位置と特徴

西在田地区は、加西市の北西端に位置し、面積18.1km²、西在田小学校を挟んで東西2つの谷に集落が点在する自然豊かな地域であり、上若井町、下若井町、大内町、下道山町、上道山町、下万願寺町、上万願寺町（行政順）の7町からなります。1300年の歴史を持つ道山の礒崎神社や国の重要無形民俗文化財に指定されている東光寺の鬼会式などの伝統行事も残っています。



交通アクセスとしては、Y字型に県道と市道が走っており、ハッピーバスが公共交通機関として運行されています。

人口減少と少子高齢社会の進行、獣害被害や耕作放棄地の増加等の課題に直面しており、対策が急務となっています。

(2) 人口統計

2019年3月調査によりますと、西在田地区の人口は、2,041人、戸数は624戸となっています。0～14歳は183人、15～64歳は1,108人となっており、高齢者(65歳以上)は750人(36.7%)となっています。

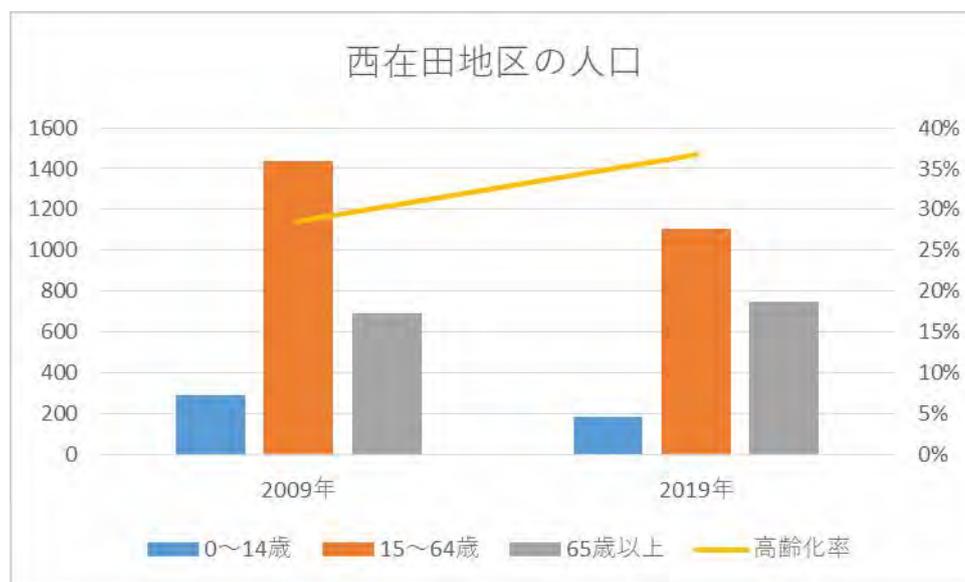
2009年と比較すると全体の人口は376人の減、高齢化率は8.1ポイント上昇しています。

加西市全体

人口	0～14歳	15～64歳	65歳以上	高齢化率	合計
2009年	6,391	30,630	11,959	24.2%	48,980
2019年	4,867	25,037	14,398	32.5%	44,302
差	▲1,524	▲5,593	2,439	8.3	▲4,678

西在田地区

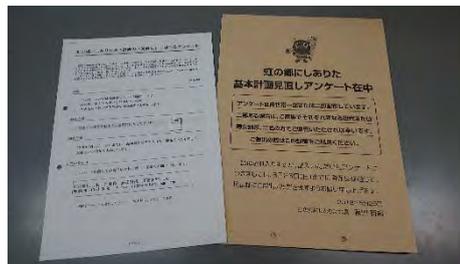
人口	0～14歳	15～64歳	65歳以上	高齢化率	合計
2009年	289	1,436	692	28.6%	2,417
2019年	183	1,108	750	36.7%	2,041
差	▲106	▲328	58	8.1	▲376



(3) アンケート調査結果

虹の郷にしありた基本計画の見直しを行うにあたり、多くの地域住民の意見を反映させるために、全世帯を対象にアンケート調査を実施しました。

アンケートの結果、農業や行事の担い手不足への不安や子育て支援、若者が活躍できる場の必要性、地域が元気になるイベントや取組みの充実などの意見が多く寄せられました。

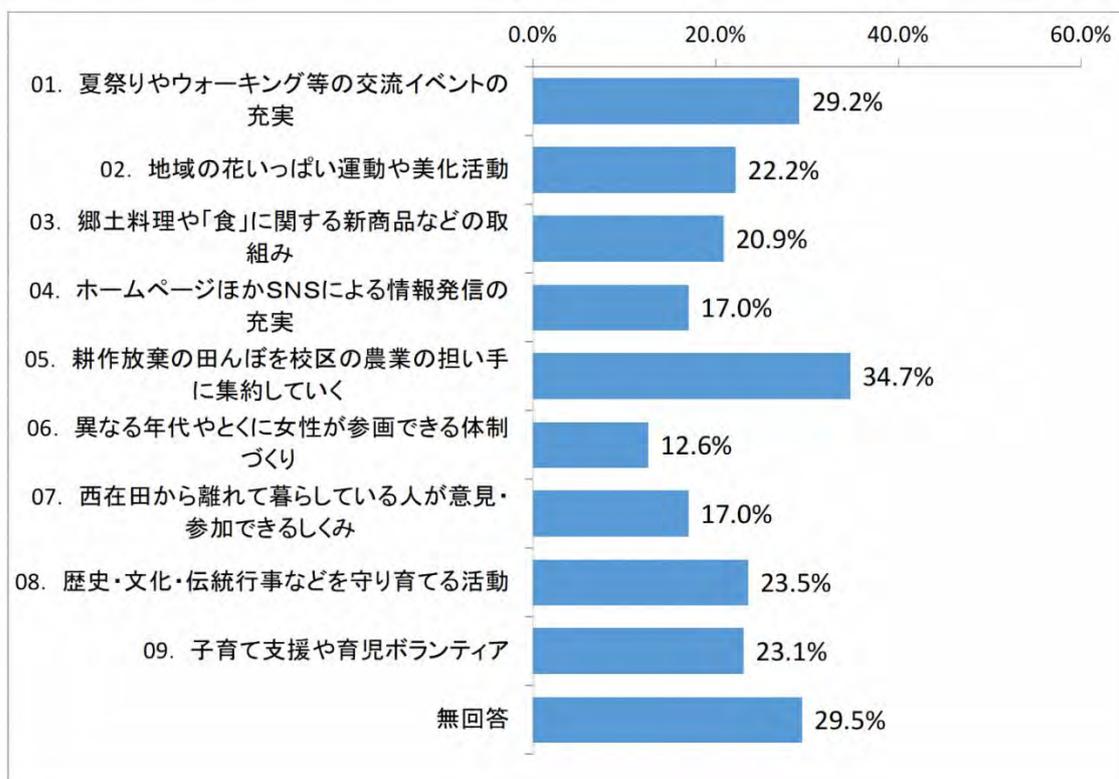


アンケートの概要

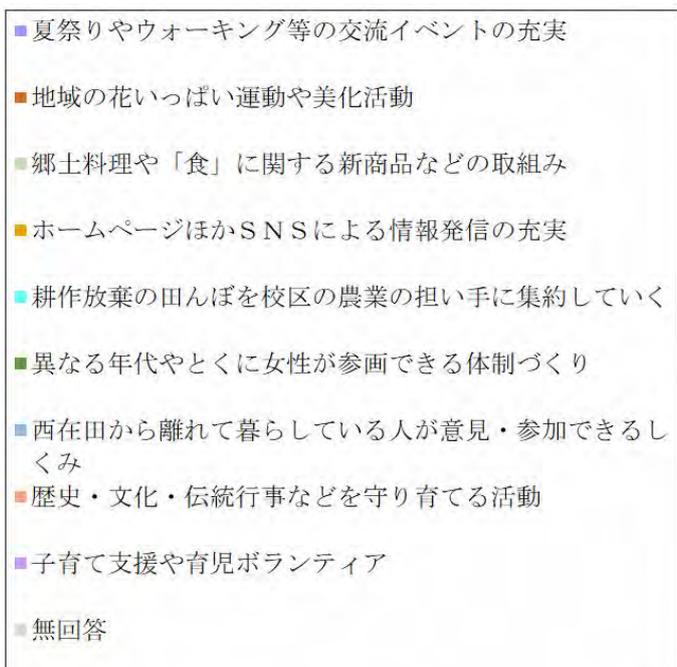
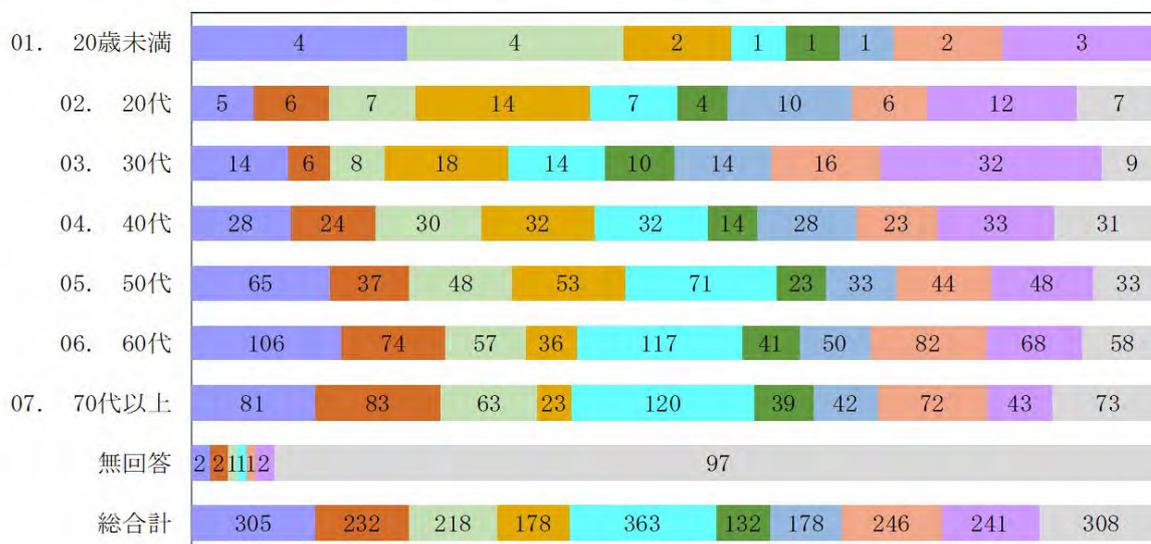
- ・配布数 1,248部(624戸) ※各戸2部ずつ配布
- ・配布日 2019年5月29日
- ・回収数 1,045部(回収率83.7%)
- ・回収日 2019年6月30日

アンケートの一部紹介

問 虹の郷にしありたで取り組むべき課題は？(複数回答可)



同じ問の年代別解析



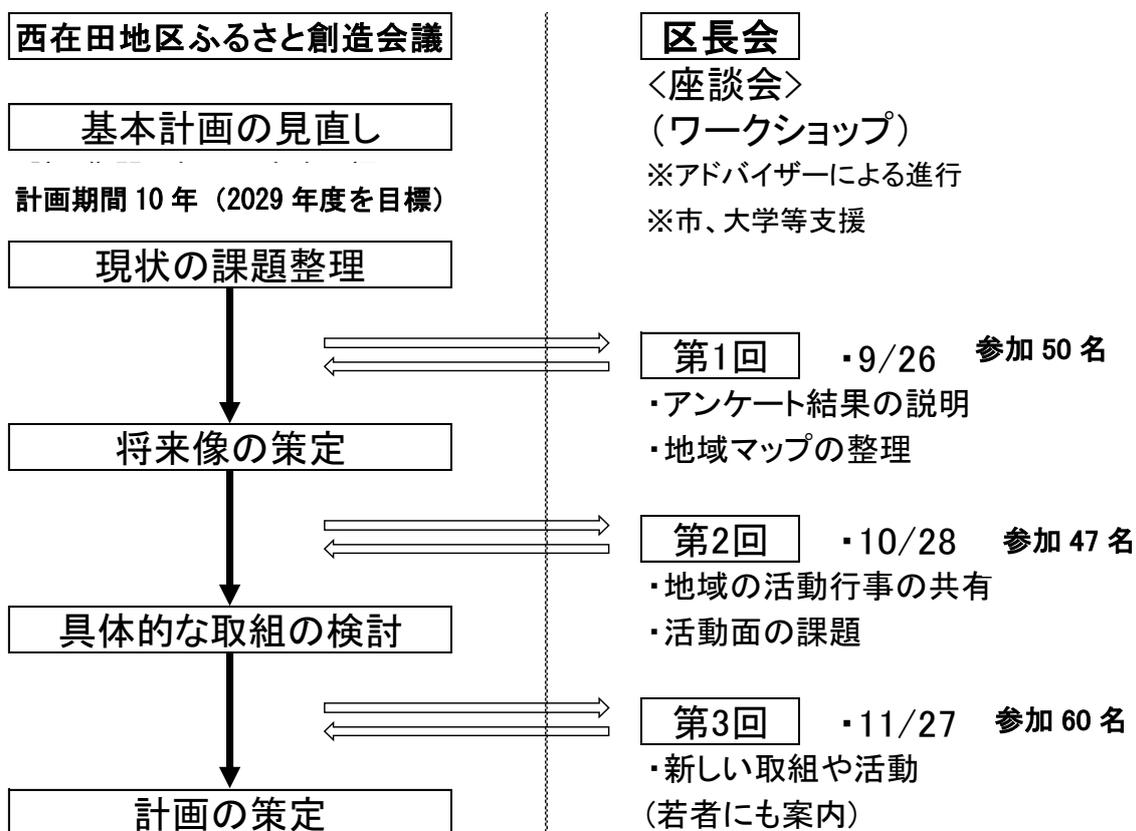
年代別で分析してみると50歳以上では、交流イベント充実、美化活動、耕作放棄地問題の意見が多く、50歳未満では、情報発信の充実、子育て支援について関心を寄せる意見が多い結果となりました。

(4) 基本計画の策定経過

アンケートの結果を踏まえ、多くの地域住民に参加のもと座談会を開催し、その場に出た意見を常任理事会、理事会、区長会等で整理し、基本計画を策定しました。



(座談会の様子)



- 常任理事会 (2019年12月23日)
- 区長・農会長合同会議 (2020年1月16日)
- 理事会 (2020年1月16日)
- 総会 (2020年6月予定)

※第1回結果については、(3) アンケート調査結果、(5) 地域資源マップにて反映

※第2回結果については、(6) 各町の行事、(7) 今後の課題にて反映

※第3回結果については、3. 西在田地区の目指す将来像、4. 具体的な活動計画にて反映

(5) 西在田地区の地域資源～地域資源マップ～

座談会で出た西在田地区の地域資源としては、以下のとおりです。

【良いところ】(長所)

- ・美しい水田、水質がよい、清水池（下若井）景色良い、作物が豊富にとれる、花見会
- ・ナンバンギセル（植物）、モリアオガエル、万願寺川（ホタル）、元気松
- ・大谷不動の滝、大谷山荘1号、2号、女切り峠、原始人会
- ・町内がまとまっている、犯罪がない
- ・鬼会式（東光寺）、厄神祭、愛染さん 男女を繋げる寺、とんど
- ・お地藏さん、医療福祉センターきずな、ポケスポット
- ・地区全体の集会時に使用できる下若井町公民館、電波塔周辺の良い眺望、若井川グリーンフラッグ賞
- ・磯崎神社の四季ザクラ



【困っているところ】(短所)

- ・人口(未婚者が多い、若い夫婦が少ない、子どもが少ない、高齢者が多い)
- ・管理が必要(空き家が増える、鹿、猪の被害、休耕田・放棄田が増えそう、山の管理が出来ていない)
- ・釜坂峠(豪雨で通行止め、木が大きくなって日当たりが悪い、峠の道路が狭く危険、峠の桜がダメになった、土砂崩れの危険、ゴミの不法投棄)
- ・熊への恐れから山に入れない、草刈りがたいへん、イノシシ、シカ、アライグマ、獣害がある
- ・橋がなくなると分断されるところがある、道が狭い、暗い夜道、交通が不便、集落内の道路が細くて悪い
- ・不便(ハッピーバスの乗り継ぎが難しい、車がないと移動できない)



【昔は良かったところ】

- ・60年ぐらい前、村にプールがあった、小さいながらも店があった、お好み焼屋さんがあった、町内がのんびりしていた
- ・川で魚捕りをしていた、泳いでいた
- ・キャンプ場があった（平成の初めまで）
- ・松茸が採れていた（平成20年ごろまで）
- ・バスが来てくれていた、2軒お店があった、食料品店4軒あった

(6) 各町の行事

座談会において、西在田地区各町から出た主な行事一覧については、以下のとおりです。

町名	分類	内容
上若井町	社寺関係	厄神大祭（子供奉納相撲）、学文寺法要（大般若会）、東光寺紫燈護摩供養火渡り、初午（子供奉納相撲）、地藏講（盆）、愛宕さん、祇園さん（提灯にローソク灯す）、八朔（子供奉納相撲）、大歳さん（子供奉納相撲）、若井磯崎神社秋季祭典、東光寺初穂祭、
	町関係	初総会、溝普請、道普請、レクリエーション大会、100円喫茶（毎月第3日曜）、いきいきデイケア、一斉畦焼き、とうもろこし販売
下若井町	社寺関係	磯崎神社祇園祭、五穀豊穣祈願祭、磯崎神社秋季祭典、元旦祭、子供相撲（正木神社、為吉神社、八王子神社、金毘羅）、愛宕祭り、とんど祭り、地藏盆
	町関係	班長会・役員会、班長役員 奉仕作業、道普請、溝普請、ふれあいサロン、みんなで晩ごはん、シニアクラブ総会、三世代ふれあい桜まつり、ふれあいの祭典、のびのび健康教室、どっこいしょ運営会議、どっこいしょふれあい餅つき、自主防災部会、いきいき委員会、きずな祭り
大内町	社寺関係	歳旦祭（役員）、涅槃会（役員・寺守）、初午・子供奉納相撲（五社・諏訪神社：当番）、八幡祭（幟立て：組当番）、神嘗祭（役員）、子供奉納相撲（当番）、十夜祭（伝統的行事：大きなむすび）、五社神社周辺草刈、五社神社の清掃（シニアクラブ会員）、
	町関係	初総会、道・溝普請、ご来光の集い、あったか推進の集い（75歳以上中心）、町費徴収（役員）、健康いきいき体操（百歳体操）・サロンほっこり、天雲山遊歩道の掃除、とんど祭り（とんど有志会・消防団）、町畔焼き（池の堤・法面：4カ所）、クリーンキャンペーン（役員・婦人部）、三世代ふれあい交流会（防災訓練を含む）、花祭り、池の草刈・鳥獣柵の点検・補修、お般若会（役員）、河川・農道草刈、墓地の草刈、
下道山町	社寺関係	磯崎神社祈年祭、例大祭、磯崎神社大祓祭、磯崎神社新嘗祭、歳旦祭
	町関係	初総会、溝掃除、道普請、参道掃除、町所在地草刈り、とんど（2箇所）、花見会（三班）、花見会（四班）、小学校PTAお楽しみ会、三世代交流、敬老会、新年会（四班）
上道山町	社寺関係	磯崎神社元旦祭、磯崎神社祈年祭、磯崎神社清掃作業（シニアクラブ）磯崎神社春季例大祭、磯崎神社・岩崎神社清掃作業、磯崎神社 宵宮祭、本宮祭、磯崎神社新嘗祭、大祓祭
	町関係	初総会、道普請、溝普請、シニアクラブ初総会、いきいきレクリエーション大会、ふれあい いきいきサロン、ふるさと芸能大会（シニアクラブ対象）、高齢者あったか推進のつどい、しあわせ体操クラブ、グランドゴルフ
下万願寺町	社寺関係	鬼会式、若一神社祭り、若一神社 大祓祭り、昇天祭、
	町関係	初総会、道普請、溝普請、高齢者あったか推進のつどい、いきいきデイケア、三世代ふれあい交流会、ため池の草刈り・草焼き、女性会総会、シニアクラブ総会、森林組合山行き、イキイキサロン、鳥獣柵の点検・補修、営農組合総会、役員・班長奉仕作業、グラウンドゴルフ
上万願寺町	社寺関係	鬼会式、厄神大祭、若一神社元旦祭、季祭典、八坂神社元旦祭、秋季祭典
	町関係	初総会、シニアクラブ初総会、溝普請、道普請、いきいき委員会、高齢者あったか推進のつどい、三世代ふれあい祭り、除夜の鐘つき会、納涼イベント、ふれあい体操・サロン、介護予防教室、

(7) 今後の課題

今後の課題について、兵庫県立大学、行政、アドバイザーとの意見交換を行い、下記の通り整理しました。



- ・ 高齢化の進行。
- ・ 若者、子どもが少なくなってきた。
- ・ 山の手入れが出来ない。
- ・ 町の行事 参加者が減った。
- ・ 独身者が多い。
- ・ 婦人会が少ない→退会して行って入ってくる人がいない。
- ・ 役員に負担がかかる。
- ・ 班の人と顔を合わせる機会が少ない。
- ・ 子供対象の行事が少ない。
- ・ 鹿、猪の柵の点検が出来ていない。
- ・ 厄神大祭、初午・八朔・祇園 共通の課題→スタッフ不足／高齢化。
- ・ 地藏講→お堂の老朽化／まかない大変。
- ・ 道普請の高齢化。
- ・ 子供相撲の参加が少ない。
- ・ 溝、道普請の分担の見直しが必要になっている。
- ・ 鬼追式については、松明にする材料（部材）が無い、鬼の花の木がない、鬼の子をする子供がいない。
- ・ 自治会初総会で意見が出ない、女性が座る場所が無い。
- ・ シニアクラブ初総会について、人数が多く、入会年令を引き上げる。
- ・ いきいきサロン送迎が大変。
- ・ 鉄砲撃ちがいない。



〈地区全体の意見交換により、抽出された課題〉

- 課題 1 農地の維持管理
- 課題 2 獣害対策
- 課題 3 地域に魅力が無い
- 課題 4 意見が出ない
- 課題 5 行事の参加者が少ない
- 課題 6 子供の数が少なくなり、参加できるイベントも少ない
- 課題 7 高齢化対策

3. 西在田地区の目指す将来像

具体的な将来像(イメージ)をつかむため、計画の期間を10年間とします。(2020年度～2029年度)



(1) 西在田地区の目指す10年後の将来像に向けて

《いつまでも暮らし続けたいまちへ、心ひとつに。》

(2) 基本的な方向性

西在田地区の基本的な方向性は、以下の通りです。

I. 地区の心をひとつにしましょう

A 虹の郷夏祭りプロジェクト

- ・現在の虹の郷夏祭りを継続する

B 合同サロン(年1回)

- ・各町に案内し、合同サロンを開催する

II. 地区の力を集めて、できることからをはじめよう

C アグリビジネスプロジェクト

- ・農地活用イベントやアグリカフェ勉強会を行う。

D ジビエパビリオンプロジェクト

- ・ジビエイベントやジビエメニューの開発推進を行う

E 未来の西在田交流プロジェクト

- ・地元×若者×応援隊の新規プロジェクト創造開発

F 未来の場づくり教育プロジェクト

- ・意見が出る場づくりや人づくり、進行方法を学ぶ

G 子育て支援プロジェクト

- ・はっちゃんけの活動など子育て支援の活動を行う

H 移動支援プロジェクト

- ・高齢者等移動支援等に向けた活動を行う

4. 具体的な活動計画

具体的な活動計画は、以下の通りです。

(1) 地区の心をひとつにしましょう

重点プロジェクトA	活用資源	主体 虹の会部会
虹の郷夏祭りプロジェクト	小学校	時期 事業継続
各町の課題		
課題3 地域に魅力が無い 課題6 子供の数が少なくなり、参加できるイベントも少ない ※地区全体で集まる行事が無い ※各町との絆を深めるため		
具体的な活動内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の虹の郷夏祭りを継続する。 <できること> <ul style="list-style-type: none"> ・各町からスタッフを選出して、安定的な運営にする。 		

重点プロジェクトB	活用資源	主体 場づくり部会
合同サロン（年1回）	町公会堂等	時期 2022年～
各町の課題		
課題5 行事の参加者が少ない		
具体的な活動内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・サロン活動の情報共有を行い、一体感を醸成するため、各町全体に案内し、合同サロンを開催する。 <できること> <ul style="list-style-type: none"> ・現在行われているサロン活動等の運営スタッフに声がけし、まずは共催での活動を検討する。 ・一緒にできないことがないか模索したり、SNSやHPでの取材等ができないか話し合う。 		

(2) 地区の力を集めて、できることからをはじめよう

重点プロジェクトC	活用資源	主体 アグリ・ジビエ部会
アグリビジネスプロジェクト	農地	時期 2021年～
各町の課題		
課題1 農地の維持管理		
具体的な活動内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・農地活用イベントを行い、農産物の直売を行う。 ・販売ルートの開拓。 ・仲間づくり。 ・トラクタやコンバインの体験活用。 ・農地の管理作業後のバーベキュー大会。 <p><できること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西在田地区アグリカフェを立上げ、各町の農会長や地区内外の若者を集め、情報を得る交流の場として運営を行う。 ・朝市、ラズベリーの活動を本プロジェクトに統合する。 		

重点プロジェクトD	活用資源	主体 アグリ・ジビエ部会
ジビエパビリオンプロジェクト	里山	時期 2020年～
各町の課題		
課題2 獣害対策		
具体的な活動内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・ジビエイベントやジビエメニュー試食会を行う。 ・現在のジビエ資源の活用。 ・人材の養成。 <p><できること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原始人会と共催のイベントを年に1回行い、これからの情報共有とできることの模索を行う。 ・周辺処理施設の視察を行う。 		

重点プロジェクトE	活用資源	主体 未来交流部会 時期 2020年～
未来の西在田交流プロジェクト	空き家 休耕地	
各町の課題		
課題3 地域に魅力が無い		
具体的な活動内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・地元×若者×応援隊の新規プロジェクト創造開発。 ・空き施設や休耕地を提供し、外部活用プランの提案会を運営。 ・移住検討者と地域の相談会を開催。 ・貸農園での商品開発。 ・若い人の意見を取り入れた面白い行事の企画、運営。 ・地区内の大工等技術を持っている人材の活用。 		
〈できること〉		
<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト部会を立上げ、勉強会やイベントの企画を行う。 ・外部、若者を受け入れる。 ・外部、若者主催のイベントに対して、共催でサポート。 ・青年部活動を本プロジェクトに統合する。 		

重点プロジェクトF	活用資源	主体 常任理事会 時期 2020年～
未来の場づくり教育プロジェクト	下若井町公民館	
各町の課題		
課題4 意見が出ない		
具体的な活動内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・意見が出る場づくりや人づくり、進行方法を学ぶ。 		
〈できること〉		
<ul style="list-style-type: none"> ・「場づくり」や「教育」のスペシャリストを招き入れ、創造会議の常任理事が意見を集め運営できるようにトライアル実践。 ・各重点プロジェクトが進むように常任理事が支援サポートを行う。 		

重点プロジェクトG	活用資源	主体 子育て支援部会 時期 事業継続
子育て支援プロジェクト	下若井町公民館等	
各町の課題		
課題6 子供の数が少なくなり、参加できるイベントも少ない		
具体的な活動内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・はっちゃん部会の活動を支援する。 		
〈できること〉		
<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフを各町から出すよう依頼する。 		

重点プロジェクトH	活用資源	主体 高齢者支援部会
移動支援プロジェクト	各施設	時期 2021年～
各町の課題		
課題7 高齢化対策		
具体的な活動内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動販売車の導入を検討する。 ・ 高齢者の移動支援を検討する。 <p><できること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全戸配付アンケートの結果を参考にする。(2019.12月実施) ・ 一緒にできることがないか模索したり、先進事例の研究を行う。 ・ 高齢者・障がい者の移動支援を研究する。 ・ 移動販売、移動支援に合わせた高齢者・障がい者の見守りを行う。 		

(3) 情報を共有し、活動を広報しよう

各町の「イベント行事の参加者の減少」に対して、全面的にサポートを行います。

また、西在田地区ふるさと創造会議の活動についても、積極的な広報活動を行っていきます。

他町へのチラシの積極的な案内協力

他町に案内を求めるイベントについては、共催や協力を行い、積極的に案内する。

エリアトークの活用

地区内にエリアトークで案内する。

ホームページの更新

ホームページを更新し、積極的な案内に活用する。

SNSグループの運営

地区内での情報共有のため、メーリングリストを活用すると共に、ホームページやSNS(LINE, FBなど)の広報活動を行う。

Facebook ページの運営

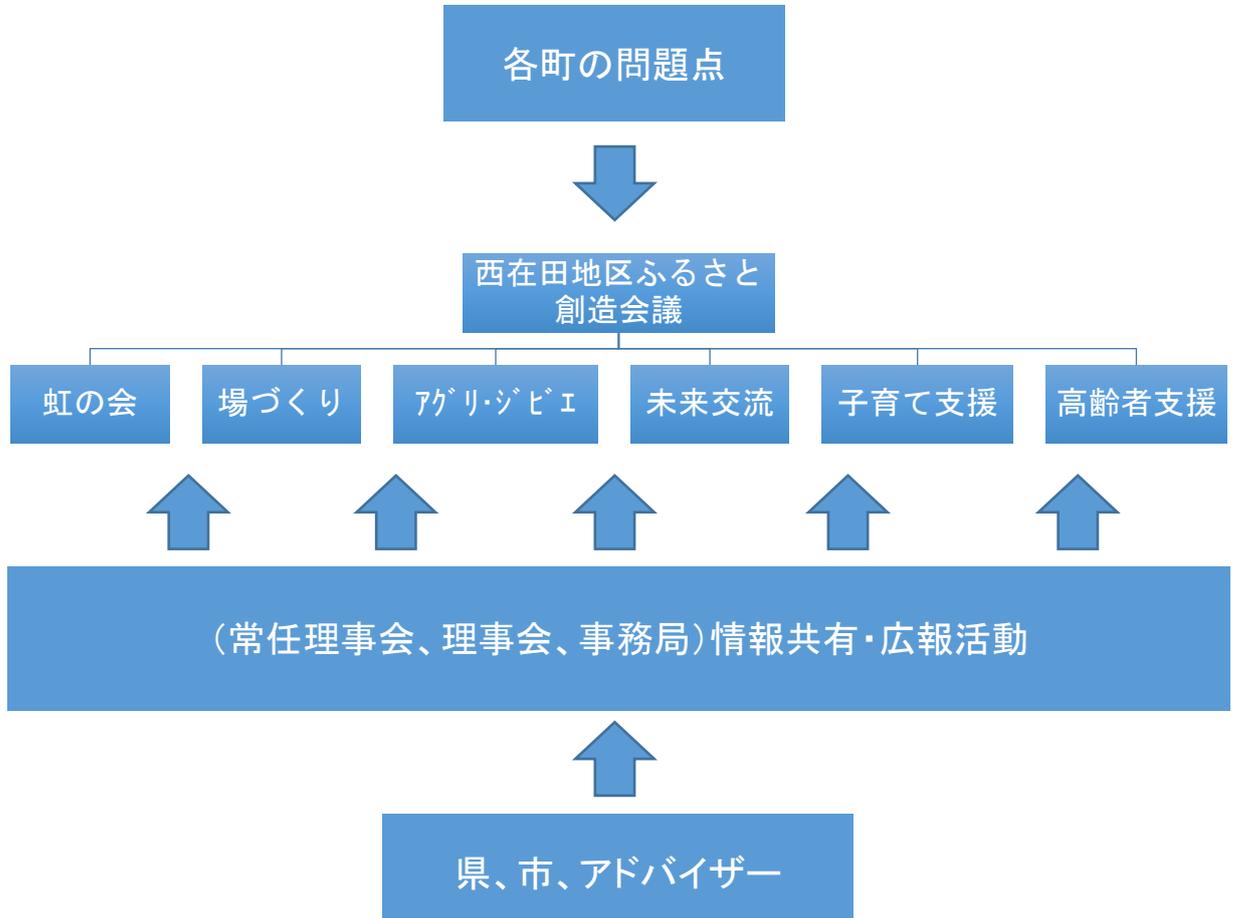
地区内外に、本計画および本活動を説明する。

マスコミへのPR

地区内外に、本計画および本活動をPRするとともに、できる範囲で広報誌などを作成し、回覧を行う。

5. 今後の進め方

今後、進めるにあたっての体制案及び実施計画です。



〈2025年度までの予定〉 ●は実施予定年度（準備含む）

	2020	2021	2022	2023	2024	2025
西在田地区まちづくり基本計画	作成				準備→	見直し
A. 虹の郷夏祭りプロジェクト	●	●	●	●	●	●
B. 合同サロン（年1回）			●	●	●	●
C. アグリビジネスプロジェクト		●	●	●	●	●
D. ジビエパビリオンプロジェクト	●	●	●	●	●	●
E. 未来の西在田交流プロジェクト	●	●	●	●	●	●
F. 未来の場づくり教育プロジェクト	●	●	●	●	●	●
G. 子育て支援プロジェクト	●	●	●	●	●	●
H. 移動支援プロジェクト		●	●	●	●	●

※進捗状況については、各年度ごとに検証するものとする。

6. 参考資料

本計画書作成にあたり実施した全世帯アンケート調査結果報告

- ・ 配布数 1,248 部(624 世帯) ※各世帯 2 部ずつ配布
- ・ 配布日 2019 年 5 月 29 日
- ・ 回収数 1,045 部(回収率 83.7%)
- ・ 回収日 2019 年 6 月 30 日